



山桜

高階西中だより 新入生保護者会特別号
平成29年 1月26日

川越市立高階西中学校

「子供たち一人一人の能力と可能性を開花させる教育」を推進します

～将来の世の中を支える「人財」を育てていきます～

校長 長井 正邦

子供たち一人一人には、様々な能力と可能性があります。

その能力と可能性を開花させること、そのことを最優先に考えて本校ではあらゆる環境を整える取組を行っています。

中学生という時期は、小学校で培った基礎の上に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む大切な時期です。とは言え、子供たち一人一人の成長に目を向けてみると、その伸びる時期やスピードは様々な状況にあります。大切なことは、「他人と比べて伸びる時期が早いか遅いか」や「他人と比べて伸びるスピードが速いか遅いか」ということではありません。子供たち一人一人が自分らしく自分なりに全力で成長していこうとする姿こそが大切なのです。「昨日の自分より今日の自分を、今日の自分より明日の自分を成長させたい」という意欲を持つ子供たちを育てることを本校の使命（指導の方針）としております。

一方、これからの世の中は、どんどん変化していきます。新一年生の子供たちが、高階地区・川越市・埼玉県・日本を支える頃は、どんな世の中になっているのでしょうか。2030年以降の世の中の姿を考えた時、子供たちにどのような資質や能力を育てたらよいのでしょうか。本校では、いつの世においても変わらない大事なものはしっかり指導するとともに、将来の社会の変化や時代の要請もしっかりと見据えて子供たちを育てていきます。

子供たちは、「宝物」です。かけがえのない存在であり、将来の「人財」です。「人材」ではなく「人財」です。本校教職員は、子供たち一人一人のよさをほめて、認めて、励ましていく指導を実践し、自分に自信を持った子供たちが、集団の中で自分をさらに伸ばし、自分のよさを生かしていける「人財」として輝けるような教育を推進してまいります。

学校教育目標の「自ら学び考え行動する生徒」の育成を目指し、家庭・地域等の皆様の御理解御協力をいただきながら、子供たちを育てていきたいと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。



↑ 生徒が描いてくれた
校長の心像絵です。

「自分の一歩」
「自ら学び考え行動する生徒」

学校教育目標
自ら学び考え
行動する生徒